



# 南中だより

教育目標 愛 勉学 自主性

東久留米市立南中学校

〒203-0021 東久留米市学園町 2-1-23

健康

令和6年1月18日発行

校長 若澤 直樹

## 令和6年 備えの意識

令和6年、辰年がスタートしました。保護者の皆様には健やかな新年をお迎えのことと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、年の初めからのニュースは衝撃的なものが続きました。全国でおめでとより震災被災地の方への心配の声が先に聞こえる正月となりました。本校でも被災地にご親戚の方がいらっしゃるご家庭もおありかと思います。1日も早い安全な日常の回復と復興をお祈りいたします。

今回のニュースで流れた津波や崩れた家屋などの映像は大変ショッキングなものでした。今の中学生には、13年前の東日本大震災の記憶はあまりないでしょうから、今回の地震のニュースや映像からは震災の恐ろしさを実感することとなったと思います。

災害対策には自分で備える「自助」、地域で備える「共助」、行政で備える「公助」の3つが不可欠ですが、私自身この「自助」と「共助」の大切さを震災後の避難所の様子から強く意識、再確認いたしました。

始業式では飛行機事故からの乗客脱出の様子の話と合わせて、避難訓練や普段の備えの大切さをお話ししました。また、先日は2年生で災害時の避難所運営についての学習をHUGというゲームを通して学ぶ機会を設けました。校内での防災体制についても再度確認をいたします。ご家庭でも是非、災害時の家族の連絡方法や電気・水道などライフラインの途絶等への対応準備についてお話しする機会を持っていただけたらと思います。

## 書く力・伝える力

年賀状など手紙を書く機会は減っているかもしれませんが、本校では「書く力」を育てるため、朝の授業前の時間を利用して、「自分の考えをまとめて」「読み手にわかりやすく」短い文章を書くという朝学習の取組をしています。AIによる文章作成もできる時代ですが書く力の育成は思考力や伝える力、コミュニケーション力の育成に役に立ち、これらの力が入試だけでなく社会の様々な場面で必要となる大切な力でもあるからです。

先日、市内で2つの表彰式がありました。人権についての考えをまとめた作文等の表彰式と、税の必要性やその使い道についての作文・標語の表彰式です。どちらも市内の各学校から多くの生徒がそれぞれ参加しているものですが、その中から本校の生徒は何名も優秀作品として選ばれ表彰を受けました。受賞した作文の内容は読みやすく説得力のある素晴らしいもので、書く力の大切さを感じました。

また、12月の人権週間に1年生全員で人権についての標語を考えました。こちらも短い文の中にしっかり深い意味を考えさせられる標語がたくさんあり、学年だよりで紹介されました。的確に言葉を選ぶセンスも育っていることを感じました。SNSなどネット文化の中では少ない言葉の中で受け取る相手の読み取り方を想像して書く力がトラブルの回避のために必要です。その想像力と言葉のセンスも含めた書く力がこれからの時代には必須のものになっているのだと思います。朝学習や授業の中でももちろんですが、様々な場面で「書く力」を伸ばしてくれることを期待しています。

保健体育科の島本雄基教諭がお休みをしております。ご心配をおかけしておりますが、その間、3年5組の担任は金原たかね教諭が担当、3学年の保健体育の授業は森川浩次主任教諭と坂田園主任教諭で担当し、生徒の学習活動や進路選択のサポートに支障がないよう対応してまいります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

## 避難所運営講座を実施しました

1月11日(木)に、2年生を対象に「避難所運営講座」を行いました。1月1日に発生した能登半島地震では、ニュースなどで伝えられている通り、未だに多くの方が避難所での生活を送られています。南中学校も、災害によって避難した方たちが滞在することができる施設避難所として、「ひばりが丘団地」、「南沢2丁目」に住む方の避難所として利用されます。

今回の講座では、静岡県で作られた「避難所運営ゲーム HUG」を活用し、様々な状況におかれた避難者の振り分けや、避難所で起こる出来事への対応を疑似体験することで、避難所で中学生が果たすることができる役割について考えました。頭部にケガを負っている、ペットを連れているなど、様々な情報が書かれた避難者カードや、仮設トイレの設置場所の決定などのイベントが書かれたカードを読み上げながら、「この家族は体育館に避難したほうが良いよ」「掲示板は入り口付近に置いた方が見やすいかも」など、班のメンバーと話し合いながら、避難所リーダーとして200名の避難者の振り分けを体験することができました。

震災はいつどこで起きるか予想がつかないものです。日頃からの備えが大切であることと同時に、中学生にもできることが沢山あるということ学ぶ良い機会となりました。



## 南中生の活躍

### ○演劇部 第74回東京都中学校連合演劇発表会

「昔むかしのお話」優秀賞受賞 ⇒関東大会で公演することが決まりました!

### ○東村山間税会、国税庁主催 中学生「税についての作文」「税の標語」

作文 東京都立川都税事務所賞 高橋 絹 (3-2)

作文 東京納税貯蓄組合総連合会 会長賞 柴田 成琉 (3-4)

作文 多摩武蔵納税貯蓄組合連合会 会長賞 田中 凜乃 (3-3)

標語 東京都立川都税事務所賞 村松 奏 (3-2)

標語 東久留米市商工会 会長賞 田中 凜乃 (3-3)

標語 東京国税局間税会連合会 入選 佐竹 孝太 (3-2)

※第3学年の生徒から優秀な作文が数多く出品されたため、納税貯蓄組合の方々から感謝状を頂きました。

### ○全国中学生人権作文コンテスト東京大会

作文委員会賞 江畑 美玖 (2-1)「世界で飛び交う人種差別」

作文委員会賞 横須賀 絵莉 (2-1)「違い」が輝く世界へ ~ ryuchellさんの死が教えてくれたもの~



南中学校が表彰されました!

### 令和5年度 薬物乱用防止ポスター、標語事業について

東久留米市ホームページが更新され、令和5年度の東久留米市選考の入賞作品等が掲載されましたので、お知らせいたします。

<https://www.city.higashikurume.lg.jp/kurashi/kenko/hoken/1010450.html>